姫路市史資料叢書1

飾磨県布達 九

監修 解説 山崎 隆三（大阪市立大学・名城大学名誉教授）
監修 八木 哲浩（神戸大学名誉教授）

薬師山から飾磨県庁・龍野町筋を東望（写真：丸善株式会社提供）

▼『飾磨県布達』―いよいよ完結！

―飾磨県を廃し、兵庫県へ統合―

姫路市史資料叢書1として刊行を始めた『飾磨県布達』は、いよいよこの第九巻をもって完結しました。第九巻では、明治九年一月～八月までの県乙・丙布達と廃藩置県後の第一次姫路県時代の触書を「付録」として採録し、最後にこれまでの巻で未採録であった布達を「補遺」として収録しました。

明治四年十一月、播磨国一円を管轄下におき姫路を県庁としてスタートした飾磨県は、九年八月二十一日をもって廃県となり、第三次兵庫県に統合されました。この期間、管内に発令された法令である『飾磨県布達』は、当時の原文書をそのまま復刻しており、明治政府の地方行政機構創出の過程を詳細に跡づけた貴重な史料集となっています。

本巻では、乙三五〇、三五一号布達で新築落成なった県庁縦覧許可と休庁を知らせる布達を採録しています。甲第三七一号布達で突然の廃県を通告する文書（第八巻所載）と合わせて読むと、中央集権化を進める新政府の強権的な政策を感じ取れます。

また、「付録」の姫路県触書では、廃藩置県後の旧藩主と領民との別離の様子、播但一揆の波紋、大庄屋の廃止や木版刷りとなった布達形式の変化など、地方行政組織の混乱と法令伝達の変化なども追跡しています。

◆各巻の構成

第一巻	明治四年十一月～明治六年三月	既刊	第六巻	明治八年一月～九月	既刊
第二巻	明治六年三月～七月	〃	第七巻	明治八年一月～十二月	〃
第三巻	明治六年七月～十二月	〃	第八巻	明治八年九月～十二月・九年	〃
第四巻	明治七年一月～十月	〃	第九巻	明治九年・付録・補遺	今回発刊
第五巻	明治七年十月～十二月	〃			

〈購読申し込みについて〉

頒価（各巻） 一、五〇〇円 送料…三〇〇円

頒布場所 城内図書館 史料整理室

申込先 〒六七〇―〇〇一二 姫路市本町六八―二五八 日本城郭研究センター内
城内図書館 史料整理室 TEL（〇七九二）八九―四八八六